

腹腔鏡下胆のう摘出術の手術を受けられる患者様へ

患者氏名 @PATIENTNAME 様 (ID : @PATIENTID) 生年月日 : @PATIENTBIRTH2 性別 : @PATIENTSEXN 説明日 :

説明者 :

	入院日（手術前日） 月 日	手術当日（手術前） 月 日	手術当日（手術後） 月 日
安静度	・制限はありません。		・ベッド上安静です。
食事	・脂質、エネルギー量の制限された食事となります。 ・24 時以降、食事、固形物は摂取しないでください。水、お茶は摂取して頂いて構いません。	・（ ）時以降は飲んだり食べたりできません。	・帰室 6 時間後より水が飲めます。 初回は看護師が見守ります。
検査	・適宜、体温や血圧の測定を致します。		
内服	・普段内服している薬をお持ちください。薬剤師が確認します。中止するように言われている薬は指示があるまで中止してください。 ・寝る前に錠剤の下剤を内服します。	・医師の許可があった薬のみ内服してください。	・内服は中止となります。
点滴	・点滴の管を入れます	・朝から点滴を行います。	・手術後は持続で点滴を行います。
その他	・入院後、手術についてのオリエンテーションを行います。 ・手術に必要な書類を確認します。 ①手術同意書 ②必要時、行動制限の同意書 ③輸血の同意書（医師より説明があった場合、持参してください） ・手術室の看護師による術前訪問があります。 ・必要物品 ①T 字帯 ②その他、入院案内をご参照ください。 ・おへその掃除をします。その後、シャワー浴をしてください。	・術衣、T 字帯をつけて手術室に入室します。着替えは看護師がお手伝いします。 ・患者様が手術室に入室されましたら、ご家族は病棟のラウンジでお待ちください。 	・主治医から手術の結果について、患者様、ご家族に説明があります。 ・手術中に尿の管が入ってきます。 ・酸素マスクを装着します。 ・血栓予防のため、両脚にマッサージ機を装着します。 ・心電図と酸素の濃度を測る器械を装着します。 ・痛みがある場合は看護師に遠慮なくお伝えください。 ・手術中の状況でお腹の管が入ってくることがあります。

患者氏名 @PATIENTNAME 様 (ID : @PATIENTID) 生年月日 : @PATIENTBIRTH2 性別 : @PATIENTSEXN 説明日 :

説明者 :

	術後 1 日目 月 日	術後 2 日目 月 日	術後 3 日目～退院まで 月 日～
安静度	・看護師介助のもとベッドから両足を下して座る→立つ→歩くと段階を追って歩行を開始します。 ・手術後のため、看護師の許可があるまで1人で歩行しないようにしましょう。ふらつきやめまいがなく歩行ができれば、1人で構いません。	・制限はありません。	
食事	・昼食から食事（流動食）が始まります。 ・夕食から軟菜食に変更となります。	・朝食から常食に変更となります。 	
検査	・採血、レントゲンがあります。 ・体温や血圧の測定を致します。	・体温や血圧測定を致します。	・必要時、採血、レントゲンがあります。
内服	・手術前に内服していた薬は、主治医の指示があるまで中止となります。 ・痛みがある場合は、痛み止めの薬をお渡しします。		
点滴	・点滴があります。22 時頃終了します。		
その他	・心電図と足のマッサージ機を外します。 ・医師の指示で酸素を外します。 ・蒸しタオルで体を拭き、着替えをお手伝いします。 ・歩行ができれば尿の管を抜きます。 ・お腹の管が入っている場合には、医師が状態を見て抜去していきます。 		【退院後の注意点】 ①医師の指示に従って痛み止めを内服してください。頓用で内服する場合は最低でも 6～8 時間あけて内服するようにしましょう。 ②シャワー浴ができます。退院後は次回外来まで入浴はしないでください。創部の発赤、腫れ、痛みの増強、発熱等がある場合は病院へ連絡してください。 ③退院時に次回の外来について説明します。 ④退院後食事制限はありませんが、暴飲暴食を避け、規則正しい生活を心がけましょう。

状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点などがありましたら、お気軽にお尋ねください。東京歯科大学市川総合病院 2024/8/1 作成